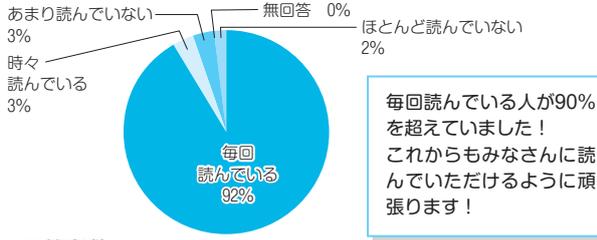


「市報多久」アンケート調査 ご協力ありがとうございました

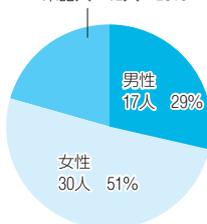
市報多久9月号で市報多久のアンケート調査を行いました。59人から回答をいただきました。みなさんからの貴重な意見を参考に、今後もより充実した市報づくりに取り組んでいきます。くわしい内容は、多久市ホームページをご覧ください。

「市報多久」を読んでいますか？

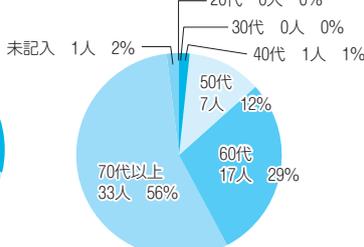


回答者数 59人

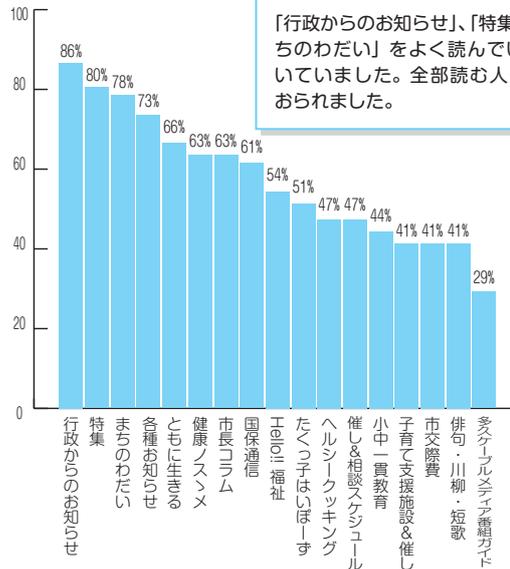
男女別



年齢別



良く読むコーナーはどれですか？（複数回答可）



市報へのご意見、ご要望！

- ◎子供クラブのある地区のクラブの行事等の紹介等を記載してもらえば各地区の参考等になると思います。（60代 男性）
- ◎多久出身で、佐賀で、日本で、外国で活躍している人を積極的に紹介するコーナーが欲しい。（70代 女性）

などたくさん意見をいただきました。

Information 情報課 広報広聴係

「多久市広聴事業ワークショップ」

「市長と一緒に多久市の未来を語ろう」を開催しました

11月6日に多久市まちづくり交流センター「あいぱれっと」ふれあいコーナーで、多久市広聴事業ワークショップ「市長と一緒に多久市の未来を語る」を開催しました。

今回は「『住みやすい多久市』に向けて、これからやるべきこと」と「魅力ある多久市」に向けて、これからの「魅力ある多久市」の2部構成で実施し、活発な意見交換が行われました。

提案された内容の一部を紹介します

1部『住みやすい多久市』に向けて、これからやるべきこと

- 他県から引っ越してきたが、水洗トイレの整備が遅れているので、さらに促進してほしい。
- 地域おこしやまちづくりを進めるためにも、各地域や集落がまとまる必要がある。
- 地域でグループを立ち上げたが、継続していけるか不安。知り合いがいなければ入りにくいので、入りやすい環境づくりを。
- イベントがなくても、若者などが集まれるような場所がほしい。



2部『魅力ある多久市』に向けて、これからやるべきこと

- 炭鉱などを利用したプラタクなどを企画してほしい。
- 多久駅を利用する際に、無料駐車をペーサーがあるが、場所がわかりづらい。場所の掲示をしてほしい。
- 公共交通機関の情報提供をもっとしてほしい。
- 多久町で陶芸をしている外国人を応援し、広報してみようか。
- 外国人を見かけるが、交流が少ない。これから農業や福祉でかかわってくるのでは。地域にも積極的にかわってほしいので、交流する機会などがあれば相互に有益と思う。



▼問い合わせ

情報課 広報広聴係 ☎75-2280